

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

- 01 常磐大学寄付講座・第3講
「人材育成の必要性と生き生きと働く為の心構え」
株式会社EMMY 代表取締役社長 渡辺満枝氏
- 02 常磐大学寄付講座・第4講
「私教育の可能性を求めて」
株式会社茨進 代表取締役社長 小笠原宏司氏
- 03 委員会報告
青年経営研究会 愛知経協・青壮年経営者部会との連携事業
「トヨタ産業技術記念館・三五マフラーミュージアム」を視察
- 04 支部だより
県北
- 05 6月は「環境月間」です
会員企業の環境事業のご紹介
- 07 「2016会員増強運動」の状況
～5月入会13社、大台突破！会員数1,005社～
新入会員のご紹介
- 10 NPO情報Vol.188 <横田能洋>
「空家、若者、まちをつなぐのが、市民活動のトレンドになる」
- 11 経営者・管理者のための挨拶・スピーチのポイント③ <葛田一雄>
「話材と聴き手の心を掴むための意識すべき事柄」
- 13 セミナー・事業等のご案内

人材育成の必要性と生き生きと働く為の心構え

株式会社EMMY 代表取締役社長 **渡辺 満枝氏**



施設などで次々と導入されてきている。また、高度化サービスの提供が進化し、製造業が情報サービスコンサルティングを行っている。このように、現在はまさに異業種間競争の時代になっ

ている。
 近年の時代変化のスピードは非常に速い。異業種間競争の時代といわれるように、業界そのものが消えてなくなったり、あるいは他の業界と融合してしまったりする事態があちこちで起こっている。たとえば、コンビニエンスストアが銀行業務を行うことで競合が起きている。また、電気自動車が出現し、電力会社とガソリンスタンドが競争関係に入ってきている。ゲーム機不要のスマホゲームが普及していることでハードゲーム機中心だったゲーム会社は、苦戦している。インターネットを用いた無料通話が出現したことで、従来の通信会社と新興通信企業との競合が起きている。都心では、自動車を保有するのではなく、カーシェアリングする動きが広がっている。書籍は買うのではなく、音読するサービスが登場し、高齢者に好評である。ロボットによるサービス提供は、百貨店・銀行の受付や介護

このような時代、企業は他社との差異化を進めたいが、簡単にできるわけではない。結局、コアビジネスに関連する人的サービスを強化する必要がある。そこで重要なことは、期待を超えるサービス、すなわち感動を顧客に提供することである。

そのためには、感性豊かな様々なスキルを持った人材が必要である。たとえば、マーケティングスキル、プレゼンテーションスキル、コミュニケーションスキル、ITスキル、心理学、ビジネスマナー、リーダーシップ、マネジメント、グローバルな視点(語学)などである。

さらに、社会人として磨きをかけたい3つの要素を紹介したい。まず1つは「専門的な知識・技術」である。換言すれば、自分の強みをもつということである。2つ目は「コミュニケーション力(ビジネスマナー)」である。これは人とうまくや

れる力である。3つ目は「感性」である。これは、目が利く、気が利く、身体が利く人になるということである。

生き生きと働くためには、自分自身をじっとみつめてみる必要がある。自分のアイデンティティ、長所、短所、何をしている時が楽しいか、何が得意かといった点から自己を明確化し、好きな仕事、自分に合った仕事を見つけてもらいたい。IQは変えられないが、EQは上げられる。仕事で必要なのはEQのほうである。

自己実現への近道には、次の3つがある。①夢を強く思うこと。そして、1歩踏み出すことである。②夢を文字にする。常に夢を目に触れる場所に貼るのがよい。③夢を人に宣言する。こうすることで後に引けない自分を作ることができ、さらに人が協力してくれることもある。

最後に、就職戦線で勝ち抜くためのポイントを紹介する。人は瞬時に人の印象を決めてしまう。第一印象で好感をもたれるための要素は、見た目が55%、声・話し方が38%、話の内容が7%である。第一印象を良くすることを今から心がけてほしい。また、稲盛和夫氏の「成功の方程式」によれば、人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力である。これを参考にして就職に臨んでほしい。

「私教育の可能性を求めて」

株式会社茨進 代表取締役社長 小笠原 宏司氏

私は大学時代から「仕事の中身が長く続けられるかどうか」という観点で就職しようと考えていた。そして、薬はなくなることはないとの判断から製薬会社に就職した。しかしその一方で、学生時代に塾でアルバイトしていた時に感じていた教える感動をどうしても忘れられずに、最終的に現在の仕事を選択した。

茨進グループは1976年に土浦でスタートし、その後事業を拡大しているが、現在は株式会社市進ホールディングスのグループに入っている。当社は主に受験対策の塾を展開しているが、少子化に伴い、垂直展開(学年層の拡大)と水平展開(集団指導に加えて個別指導、ウェブ機材を活用した指導の展開)をおこなってきている。

現在、日本は人口問題という大きな課題に直面している。今から32年後の2048年には日本の人口は1億人を切るといわれている。また、高齢化も進んでおり、2013年は4人に1人が高齢者であったが、2060年には2.5人に1人が高齢者という社会になるといわれている。その時日本はどのような社会になっているだろうか。想像することも難しいが、今では考えられない社会になっている

かもしれない、その中で自分はどうなっていたいか、そしてどうやって生き抜くかということをおこななければならない。

教育の分野でも、2020年問題というものがある。大学入試を、これまでの知識・技能を見る試験から、判断力・表現力を見る試験に大きく変えるという改革が行われる年である。この改革の本質は「主体性のある人間を育てる」ということである。つまり、自分の考えを適切に表現できるかということである。みなさんはすでに大学に入学しているので関係ないと思うかもしれないが、そうではない。なぜなら、皆さんの後輩はそういう入試を乗り越えて大学に入るわけであり、判断力・表現力を鍛えた後輩たちが後から追いかけてくるという緊張感をもっておくべきだろう。

では、私教育は何をすべきなのだろうか。私は「強い子」を育てたいと考えている。塾は成績アップや志望校合格といった明確な目標に応えるため



にあるわけだが、しかしそれだけでは「強い生徒」にはならない。つまり、合格させるためだけでなく、自主性ややる気、人間性を高めることがこれからは更に必要である。当社の共通理念は「人を創る」である。主体性ある人材を育て、その人材が更に次の人材を育てる良質の連鎖を創り上げていきたい。

これからの教育産業の在り方として、海外進出も重要である。アジアでは、日本へのリスクが強い国も多く、日本の国力を維持するために、海外の人々と連携して事業を行なうことが不可欠となる。その際、英語はグローバル言語であり必需品と言える。今こそ、身につけるべきであり、細かい発音や文法に拘われなくとも、コミュニケーションする意思をもって、発信力重視の勉強をすることが望まれる。

青年経営研究会・特別例会を開催 愛知経協・青壮年経営者部会との連携事業「トヨタ産業技術記念館・三五マフラーミュージアム」を視察

青年経営研究会(会長 磯崎寛也氏 (株)アイ・ティ・エイチ代表取締役社長)は、交流拡大委員会(委員長 大澤健司氏 (株)サンヨーホーム専務取締役)主催の特別例会として、5月18日(水)～19日(木)、青年部会全国大会を通しての友好団体である愛知経協・青壮年経営者部会(代表幹事 松岡多加倫氏 オークン(株)代表取締役)との連携による視察・交流会を開催した。20名のメンバーが参加。

「トヨタ産業技術記念館」はトヨタグループ発祥の地である旧豊田紡績株式会社本社工場跡地に設立され、グループの原点である機織り機の実演から歴代のトヨタ車を並べる展示とサービスの質の高さから、外国観光客にも人気のある見学施設。「TOYODA」から「TOYOTA」に代わった経緯をはじめ、事業の変遷や時代背景に沿ったエンジンの開発をはじめ自動車製造技術革新の足跡など、グループの歴史について、各コーナーに配置された語学堪能な案内スタッフが自然と連携する流れで、来館者に対し

能動的かつ丁寧に説明していたのが印象的であった。参加メンバーからも展示内容の充実度に加え、案内スタッフのレベルの高さを絶賛する声が続出した。「行ってよかった工場見学・社会科見学」ランキング第1位、「外国人に人気の日本の観光スポット」ランキング5年連続エクセレント認証により殿堂入りした理由の意味を実感した。

「マフラーミュージアム」は、自動車のマフラーを中心とした排気システムを製造する株式会社三五が、創業80周年を記念し旧本社工場跡地に設立。世界でも珍しい排気システムの進化の過程や仕組み、役割を理解できるように展示に工夫が施された見学施設で、マフラー部品の性質から環境面に配慮した製品開発技術をはじめ、車種のユーザー属性を考慮したマフラーの音色の研究や、自動車

接近時の察知・安全面を想定し消音し過ぎないバランスの研究等、マフラー技術の奥深さについて、参加メンバーから感嘆の声が上がった。名古屋市内の住宅地に位置する同施設敷



地内には、62種18,000本の苗木を植樹した「ECO35の森」が整備され、ヘイケボタルの育成を含めた生物の息環境・ビオトープづくりを通して、子供たちをはじめ地域に貢献する取組みについても紹介された。当日は系列会社で下妻市に本社工場を構える会員企業株式会社三五関東の永田社長にもご対応いただいた。その後、現地ガイドの説明を受けながら熱田神宮を参拝した。

なお、愛知メンバーとの懇親会は、みそかつを名古屋名物に育てた立役者として女将鈴木純子氏がカンブリア宮殿(テレビ東京系5/12放送)に出演、超家族経営が話題となっている「矢場とん」で開催、料理の味とともに店員のおもてなし精神を目の当たりにしながら、愛知メンバーとの親交を深めた。

2018年には経営者協会青年部会全国大会の茨城開催が決定されており、本例会同様に今後も各県青年部会との交流促進を図っていく予定。



県北地区支部

役員幹事会を開催

県北地区支部（支部長 三浦利春氏（株）茨城サービスエンジニアリング 代表取締役社長）は5月18日（水）、北茨城市「五浦観光ホテル」において、平成28年度第1回役員幹事会を開催した。

はじめに三浦支部長が「本日、北茨城のアーキシステムさんにご入会頂き、ちょうど経営者協会の会員が1,000社となった。これまでの会員増強運動では、役員幹事のみなさまに大変ご尽力頂き、感謝申し上げます。1,000社を抱える協会として『協会に入って良かった』と思っただけの活動を立案していかねばならないと思う。本日は、支部活動の内容を充実させるため、忌憚のないご意見を頂戴したい」と挨拶した。

続いて澤畑専務理事が「三浦支部長にご紹介頂きご入会頂いた会社で会員数1,000社を達成できましたこと、厚く御礼申し上げます。本日は2月に開催されました役員幹事会でご承認頂きました通り、大高前幹事長が副支部長、小川幹事が幹事長にご就任頂いての第1回目の役員幹事会となります。

また、来る7月1日付け、支部長にご就任予定であります大原専務取締役にもご臨席を頂き、ありがとうございます」と挨拶した。

引き続き、小川幸則幹事長（小川産業（株）代表取締役社長）の進行のもと、本年度の支部活動計画について協議がなされた。

協議の結果、①7月26日

（火）、支部総会開催五浦観光ホテル別館「大観荘」、総会記念講演 野球解説者 佐野慈紀氏 講演タイトル「リーダーの条件」、②9月24日（土）、支部会員交流会ゴルフコンペ開催、③12月、講演会開催、④29年1月、企業見学会開催、⑤28年2月～3月、行政との懇談会（講師は県議会議員）が決まった。



本年1月にご支援をお願いしました「茨城いのちの電話」の幡谷浩史理事長（弊会元副会長）から、協賛、支援（後援会員登録、法人寄付）に対するお礼のメッセージをいただきましたので掲載させていただきます。

ご協賛、ご支援に深く感謝いたします

先般、茨城県経営者協会会員様には、「いのちの電話」活動をご理解いただき、温かいご支援・ご厚意を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

「茨城いのちの電話」は、昨年、開局30周年を迎えることができました。開局からの総受信件数は約85万件にのぼり、24時間365日、大晦日の深夜も正月もあの震災のときも、誰かが電話の前に座って話を聴き、自殺予防に努めてきました。

現在、つくばと水戸の2つのセンターで200名余の相談員が一月約1,900件の相談電話を受けています。電話相談員は研修費も交通費もすべて自己負担のボランティアで、この活動の意義を深く理解して携わっておりますが、その数が減少傾向にあるのが大きな悩みです。厳しい現状ではありますが、今日の社会情勢や家庭環境の変化を考えると、今後も24時間体制を維持し、眠れぬ夜を過ごしている人の心に寄り添っていくことが「茨城いのちの電話」の役割だと認識しております。

これからもお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 茨城いのちの電話
理事長 幡谷 浩史

「茨城いのちの電話」へのご支援（後援会員登録、法人寄付など）を希望される方は下記事務局にご連絡ください。
「茨城いのちの電話事務局」つくば TEL:029-852-8505 水戸 TEL:029-244-4722 HPは茨城いのちの電話で検索ください

6月は「環境月間」です

会員企業の皆様も、期間中に様々な環境事業を展開しています

6月5日は環境の日（1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められた。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定め、日本では「環境基本法」（平成5年）が「環境の日」を定めている）です。

環境基本法では、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるといふ「環境の日」の趣旨を明らかにし、国や地方公共団体等において、この趣旨に沿った事業を実施することとしています。

本年も環境月間中に実施されている事業につきまして、会員企業より情報提供いただいた活動をご紹介します。

■ 経協会員企業の主な行事 ■

(社名50音順)

▽茨城サービスエンジニアリング(北茨城市)

①6/1～「クールビズの推進」：軽装によるエアコンの室内温度制限、②6/5「環境美化運動」：北茨城市の小野矢指海岸の環境美化運動に参加

▽鹿島石油 鹿島製油所(鹿嶋市)

①6/1～6/30「環境キャンペーン」：環境月間のポスターを掲示、②6/1～6/30「アイドリングストップの推進」：アイドリングストップの推進、③6/9「所内臭気パトロール」：臭気パトロールを実施、④6/9「廃棄物置場施設調査」：廃棄物の分別排出状況の調査、分別排出標識の整備及び施設の点検、⑤6/16「所内騒音測定」：所内16箇所騒音測定を実施、⑥6/16「環境美化清掃の実施」：近隣行政区の空き缶・ビニール袋等のゴミ拾い清掃を実施、⑦6/23「花いっぱい運動の推進」：所内花壇、職場花壇の花の植替えを実施（マリーゴールド）、⑧6/30「樹木等の植栽状況調査」：所内の樹木等の育成状況及び病害虫の調査

▽カスミ(つくば市)

①6/1～6/30「資源回収キャンペーン」：お客様と従業員を対象に、ペットボトル・アルミ缶の回収を実施、②6/1～6/30「古紙回収キャンペーン」：従業員対象に、古紙・段ボールの回収を実施、③6/1～6/30「WWFエコスタンプ募金カスミ同額寄付」：6月に店舗より回収されたWWFエコスタンプ(1枚100円)と同額をWWF募金に寄付(エコスタンプはレジ袋を辞退すると1個(5円)として押印)

▽キリンビール 取手工場(取手市)

①6/1～6/30「空調機フィルター清掃活動」：夏場に向けて、各空調機の室外機及びフィルターの清掃を行う、②6/1～6/30「工場内“省エネキャンペーン提案”・表彰」：省エネ提案を重点的に提出するキャンペーンを実施し、工場内に提出を呼びかけ、優秀事例については表彰を行う、③6/16「工場周辺道路清掃活動」：取手市里親制度に基づ

き、工場周辺道路のゴミ除去・草刈り・落葉清掃を実施、④6月下旬予定「環境美化活動」：取手市民憲章推進協議会の要請を受け、ごみ拾い・除草作業に参加する

▽倉持産業(常総市)

①6月「本社及び茨城GPセンターの温水ボイラーにLSFTCを設置、坂東液卵工場の蒸気ボイラーにLSFTCを設置」：従来の清缶剤及び防食剤といった科学薬剤による温水ボイラーの維持管理方法に代わり、化学薬品を一切使用しない安心安全な水質改善とさび防止を実現、②6月「エコラップ取り付け」：坂東液卵工場のトラップをエコラップに取り換える。蒸気漏れをなくし錆を防止、燃料のロスをなくすことが実現

▽ニコン 水戸製作所(水戸市)

①6/15「環境セミナー」：テーマは気候変動リスクと人類の選択～IPCC報告書からCOP21～、講師は国立環境研究所地球環境研究センター温暖化リスク評価研究室長 江守正多氏、②6/15「環境表彰」：環境活動に対して貢献のあった職場・グループ・個人を表彰、③6月「内部環境監査」：ISO14001に基づく内部監査を実施、④6月「環境フォトコンテスト募集」：テーマは未来のために今すぐできること、⑤6月「社内報」：担当役員挨拶等掲載、⑥6/21・7/7「ライトダウンキャンペーン参加」：環境省主催ライトダウンキャンペーンに呼びかけ団体として参加

▽日立オートモティブシステムズ 佐和事業所(ひたちなか市)

①5/1～「クールビズの推進」：ノーネクタイ・ノー上着での業務実施を推奨する、ご来訪されるお客様にも軽装を推奨、冷房エネルギーを抑制、②5月下旬～「グリーンカーテンの展開」：執務室の窓につる性の植物(ゴーヤ等)を育成し室内温度抑制による省エネ活動を実施、工場内以外に近隣施設及び従業員自宅にて拡大を実施、③6/20～6/24「パネル展示」：環境関連情報のパネルを構内に展示、④6/21～7/7「ライトダウン」：社屋の社名ネオン消灯、⑤6月下旬「場内廃棄物置場の巡視」：廃棄物置場の分別状況、整理整頓状況を巡視し、管理の維持・改善及び指導を図る、⑥6月下旬「環境施設見学ツアー」：廃棄物処理業者の施設見学、⑦6月下旬「工場周辺清掃」：工場周辺のゴミ拾いを実施し、美化を行う

▽日立製作所電力ビジネスユニット社 日立事業所(日立市)

①6/1「環境月間朝礼」：各職場一斉に環境月間の一朝礼を実施、②6/1～6/30「環境特定施設の総点検」：各職場にて大気汚染防止法、水質汚濁防止法などの環境特定施設を総点検し、環境への影響が無いよう設備および管理者の見直し、③6/6「環境メッセージの放送」：環境の日を迎えるにあたり、事業所長メッセージを構内で放送、④6/13～

15「事業所幹部による環境巡視」：事業所内の環境リスクポテンシャルが高い箇所について事業所幹部による巡視を行う、⑤6/15「河川・通勤道路の清掃」：事業所近くの宮田川周辺を清掃。また、国分工場周辺の通勤道路を近隣の高校と合同で清掃、⑥6/22「環境講演会」：外部から講師をお招きして講演を行い、従業員の環境意識高揚を図る

▽日立ライフ(日立市)

①5月初旬～10月末「環境啓蒙活動の推進」：環境月間ポスター及びクールビズ啓発用ポスターの社内掲示。なお、今年度も昨年に引き続きクールビズ期間を5月～10月に拡大してすでに実施中、②5月末～9月末「グリーンカーテンの推進」：日立ライフグループ各拠点でグリーンカーテンを実施し、室温を3～5℃程度低減させる取り組みを実施中。(自然の効果を活用し冷房機器の使用に頼らず、夏の暑い日を快適に過ごすことをねらった取り組み)、③6月末「環境かわら版(環境月間特集号)を発行」：1回/2ヶ月の頻度で発行している環境かわら版(A4版2頁)を環境月間特集号としてA3版2頁にして発行、④6月末「環境クイズ」：環境かわら版(環境月間特集号)の中で社員及びその家族を対象に環境クイズを実施、⑤6月末～7月初旬「CO2削減/ライトダウンキャンペーンへの参画」：環境省が2003年より実施している温暖化防止のためにライトアップ施設や家庭での消灯を呼びかける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン(6/21(夏至の日)、7/7(クールアース・デー/七夕)への参画

▽ぺんてる・茨城工場(小美玉市)

①5/13「稚アユの放流」：工場内の最終槽(排水処理した水を溜めておく槽)に稚アユを放流し、処理水がきれいであることを確認、②6/1～6/30「2015年度環境目標の実績及び2016年度目標の掲示」：昨年度の環境目標(CO2、電力、水、燃料、紙、廃棄物、リサイクル率、エネルギー消費量)の達成状況と今年度の目標値を掲示し、全従業員の環境保全活動への自覚と更なる推進を啓蒙する、③6/1～6/30「花いっぱい運動の推進、緑のカーテンによる冷房設定温度の1℃引き上げ」：自部署周辺の花壇の整備実施。併せて夏季暑さ対策の為、窓際にアサガオやゴーヤの苗を植えて直射日光を遮り冷房設定温度を1℃上げる、④6/1～6/30「エアコンフィルター清掃日」：毎週金曜日はエアコンフィルター掃除の日、⑤6/1～6/30「ディーゼルコンプレッサの清掃」：夏季のピーク電力(平日昼間の電力)消費を削減するためディーゼルコンプレッサの清掃を行う、⑥6/1～6/30「エア漏れ設備の表示」：エア漏れのある設備に表示プレートを表示し、エア洩れ修理が完了するまでは、その設備が不稼働の時はエアを遮断させる、⑦6/1～6/30「工場内環境パトロールの実施」：工場内の環境側面について環境管理責任者によるパトロールを実施し、不具合については正処置を実施する、⑧6/1～7/4「環境保全活動壁新聞募集と掲示、テーマは環境関連全般」：各部署のQCサークル単位での環境保全活動に関する壁新聞を募集し、優秀な壁新聞については賞を与えるとともに掲示板に掲示する。⑨6/12「合同朝礼による環境保全啓蒙」：工場全体の合同朝礼時、環境保全活動についての啓蒙教育の実施。エコチェックシートでの全従業員への環境保全への意識付け、⑩6月随時「空調機・チャラーの清掃点検」：各現場の空調機等の清掃・点検を実施、夏場の電力消費の効率化を図る、⑪6月上旬「ホタル観賞会」：随時実施、⑫6月末

定「全社員工場周辺のゴミ拾い」：工場周辺の道路、側溝、林、運動公園、バス停などに捨てられているゴミや空き缶の収集実施、⑬9月期「排水管の清掃」：各職場の排水管の清掃の実施、⑭3月期「雨ドイの落ち葉除去」：作業の安全を充分確保した上で、各職場の雨ドイ、屋根部分の雨水排水口等の落ち葉の除去、清掃

▽リーテム(東茨城郡茨城町)

①5/13「大学での環境教育講演活動」：学習院大学において「資源循環におけるリーテムの役割」についての講義を行った、②5/16～9/30「スーパークールビズ実施」：全社において早期よりスーパークールビズの実施を開始、③6月～「環境省事業“全国体験型環境教育”への協力：環境省事業“平成28年度小型家電リサイクルの普及促進に関する取り組み検討業務～小売店等を活用したPRイベント～”へ協力し、7月及び8月に関東・近畿・中国・四国地方で体験型環境教育を実施、④6月「市民や学生との工場見学会」：弊社水戸・東京工場では一般市民や修学旅行で訪れる学生を対象にリサイクル工場の見学会を実施し、地球環境の現状や資源の大切さやリサイクルの重要性などわかりやすく説明、⑤6月「地域クリーンアップ活動」：弊社がある茨城町の国道6号線を中心に従業員による清掃活動を行う、⑥6月「エコドライブ促進のための活動」：年間を通しエコドライブに心がけるよう社員に呼び掛け、講習会への積極的な参加をしていますが、特に6月はドライバーへの更なる意識付けとなるように他社での事例報告、各ドライバーの燃費データ等の報告などを行う、⑦6月「構内環境パトロールの実施」：毎月の定期構内安全パトロールに合わせ、6月は環境面での巡視を実施し、省エネや環境保全につなげて行く計画、⑧6月「防災訓練」：地震や火災を想定した避難訓練を実施し、安全や環境への意識強化を行う、⑨6/5「水戸市“環境フェア”に出展」：使用済み小型家電の回収と体験型解体教室を通じて資源の大切さやリサイクルの重要性を啓発、⑩6/21「環境省ライトダウンキャンペーン」：6/21(夏至の日)と7/7(クールアースデー)の両日のPM8時～10時までの2時間を特別実施日と設定しており、弊社でも照明を一斉消灯する環境対策に参加協力、⑪「ペーパーレス節電」：会議や事業展開において、冊子や紙面資料をできるだけ使用せずPCにて活動。また、エアコンの温度を高め設定したり、給茶機の時間制御や離席時にはPCの電源をこまめに切るなどの節電を実施

▽レンゴー 利根川事業所(坂東市)

①5/1～9/30「クールビズの実施」：室温が28℃でも快適に過ごせるように、ノーネクタイ・ノージャケットなどのクールビズを励行、②5月末「環境ポスターの配布」：6月から始まる環境月間についての周知、クールビズを活用した省エネの励行、③6月中毎週「廃棄物置き場のパトロール」：ごみゼロの日(5/30)を初日に、ごみ減量・リサイクル推進週間として廃棄物置き場をパトロールして分別の徹底を促す、④6月中毎週「工場周辺のクリーン活動の実施」：工場前道路の清掃、⑤6月末「環境マネジメントシステムのパフォーマンス確認」：環境委員会(毎月開催)において、省エネ・節水・CO2排出量などを前年比ベースで確認、⑥6/21～7/7「節電活動の強化」：ライトダウンキャンペーンへの参加に加えて、使っていない照明の消灯やパソコン・プリンターのシャットダウンを呼びかける

『2016会員増強運動』の状況

～ 5月入会13社、大台突破！会員数1,005社～

会員の状況（5月31日現在）

項目	支部	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計	
27年度末会員数		40	103	95	282	161	69	75	54	102	981	
入会数		1		1	6	9	3	4	1	3	28	
退会数						2	1			1	4	
会員数		41	103	96	288	168	71	79	55	104	1,005	
											前年度比	24

平成28年度目標 (第7次中期運営要綱目標)	1,030 (1,000)
---------------------------	------------------

目標比	△25 (5)
-----	------------

【御礼】

共に活動いただく仲間を増やす会員増強活動におきまして、皆様のご協力により、創立70周年を迎える平成29年度の目標としておりました会員数1,000社を1年前倒しで達成することができました。会員の皆様のご協力に対し心より感謝申し上げます。

本年度は第7次中期運営要綱の最終年度であり、会員の皆様が抱える課題や悩み、そして経協活動への要望・期待をしっかりと受け止め、それらに可能な限り応えられるよう努力してまいりたいと存じます。新入会員の方々を含めた会員の方々に「経営者協会は頼りになる」と評価いただけるよう更なる活動の充実を図ってまいりたいと存じます。

平成28年度の新たな目標達成に向けて、一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

専務理事 沢 畑 慎 志

新入会員紹介

アイエス・テクノロジー・ジャパン株式会社

■代表取締役社長 山崎 幸登



所在地/つくば市松代1丁目9番8
 TEL 029-875-9330
 FAX 029-875-9331
 業 種/機器の開発・製造・販売
 従業員/9名

Appeal point

自動化のための機器・設備・システムの、設計・開発・製作・改良から保守まで、先進の技術と情熱でお応えします。半導体関連の製造設備、バイオ関連の研究機器・設備で、ご好評をいただき、開発を重ねております。ウェブでご紹介できるのは、その一例に過ぎません。一台一台、各現場のご要望に合わせた柔軟なカスタム・メイドが可能です。他社機器とのインターフェイスも可能です。

ニーズの最大公約数を反映した量産型機器・設備では解決できない問題を、素早く解決して他をリード！作業のストレスも解消しましょう！ぜひ一度、お気軽にご相談ください。

株式会社 アーキシステム

■代表取締役 有坂 欣三



Data 所在地／北茨城市磯原町本町2-4-1
T E L 0293-43-2828
F A X 0293-43-2809
業 種／建設業・建築設計事務所
従業員／7名

Appeal point

弊社は、公共工事ももとより民間企業・個人住宅と幅広い営業活動を行っております。

民間施工物件につきましては、プランニングから携わり常に建設動向を見つめ、顧客満足度の向上、顧客ニーズに沿った建物を施工してまいりました。

今後も、人材教育を継続し、目標に向かい関連企業との連携を図り、社会環境づくりに貢献できるよう努力してまいります。

株式会社 マカベ

■代表取締役 荒川 賢



Data 所在地／桜川市真壁町塙世288
T E L 0296-55-2118
F A X 0296-55-0922
業 種／電気機器製造
従業員／54名

Appeal point

(株)マカベは、1973年に電機機器の組立工場として創立し、1978年には機械板金工場を増設、1989年には秋田工場を設立し工作機械用制御盤・工作機械用スプラッシュカバー・配電盤・基軸に設計・板金加工・塗装・組立・NC制御盤配線組立迄一貫体制の生産対応を行っています。又環境マネジメントはKES2SR・品質マネジメントはISO9001を認証取得しております。

お客様の多様化するニーズに素早く対応するため社員ひとり一人のスキルアップに努め信頼され、存在価値ある企業を目指しています。

社会福祉法人 山ゆり会

■理事長 松山 岩夫



Data 所在地／茨城県守谷市本町4210
T E L 0297-85-5364
F A X 0297-85-5363
業 種／社会福祉施設（保育園）
従業員／45名

Appeal point

自宅を開放して保育所に入れないう子を預かることから始まった山ゆり会。子どもたちをより良い環境で育てるべく社会福祉法人となり、園の数も増やして参りましたが、開園当初から変わらず大切にしているのが、「根っこ」を育てる事です。すべては、子どもたちの幸せのために…大きくなって困難に出逢っても自らの力で乗り越えていけるように「生きる力」=人としての根っこを強く丈夫に育む保育を、山ゆり会は邁進して参ります。

株式会社ロジックデザイン

■代表取締役 渡邊 秀人



Data 所在地／水戸市大工町3-4-24
T E L 029-300-4728
F A X 029-226-5121
業 種／情報システムの制作・販売
従業員／40名(全社合計52名)

Appeal point

弊社は、自動車、ロボット、ドローン、IoT、スマホアプリ、ビッグデータ、人工知能、データ解析、Webアプリ、デジタルサイネージなどの情報システムを得意としており、ハードウェアとソフトウェアの両面からの技術で構築することができます。

自社製品である、地域ガイドアプリ、介護（見守り）システム、ビッグデータ解析システムなどのソリューションを通して、ICTで茨城県を元気にするために、これからも努力して参ります。

株式会社ユーゴー

■代表取締役 沼崎 周平



Data

所在地／小美玉市中延1788

T E L 0299-58-4741

F A X 0299-58-4725

業 種／クリーニング業

従業員／200名

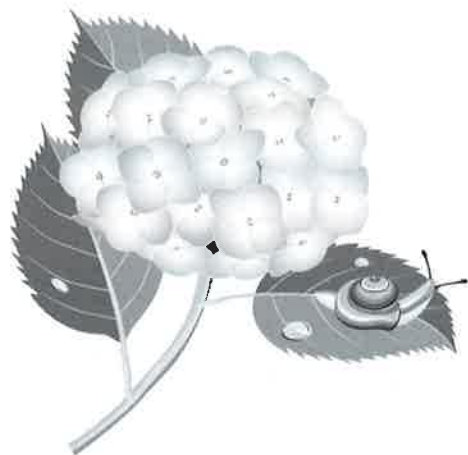
Appeal point

茨城県を中心とし、千葉県・埼玉県・栃木県・群馬県・長野県・福島県に、クリーニング専科170店舗（うちFC45店舗）、MIXMAX19店舗（うちFC②店舗）を展開しております。

弊社の経営理念は、「お客様や仲間、家族、取引先、地域社会に『ありがとう』と感謝される『人間力の成長』を目指していくこと」です。

周囲の方々に感謝される存在になる為、社員一人ひとりが人間力の成長を目指し、オーナーシップ精神のもと、顧客満足の追求をして参ります。

また、クリーニング業にとどまらず「地域衣文化の創造」をテーマにクリーニング業とアパレル業を融合した新しい産業の構築を目指しております。



心を込めて、信頼できるカーライフ

茨城トヨタ

PRIUS
HYBRID Series プリウス



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



空家、若者、まちをつなぐのが、 市民活動のトレンドになる

茨城NPOセンター・commons代表理事 横田 能洋

各自治体では、地方創生に関する取り組みとして、人、まち、仕事をキーワードに地域の魅力作りに関する計画づくりを進めています。中でも移住の促進と空家活用は親和性があり、各地の実験がメディアで取り上げられています。

私は昨年9月初旬に徳島県の神山町に視察に行きました。市街地から車で30分くらいの山間の風景は茨城の県北に似た感じでしたが、その神山町は、消費者庁の機能の一部を移すということで最近話題になりました。かなり前に総務省の事業で高速インターネット回線の整備を街全体でしました。平らな土地が少なく大きな工場はありませんが、古民家の中を改装して東京のIT企業がサテライトオフィスを作り雇用を生み出しています。すると次々に若い人やシニアが移住し、民家を改修した個性豊かなレストラン、蕎麦屋、ビール工場などができ、それを目当てにバスではなくマイカーでよく人

が訪れています。この土地の魅力は豊かな自然、風景、静けさ、ネット回線、個性的な店、そして外の人を受け入れるおほらかさです。最初、芸術家を受け入れ空施設で創作活動してもらい、その作品を展示することから始めたそうです。若い人は、やりたいことが自由にできるところを求めています。この地には、そうした若者と空家を仲介する人や組織があります。こういうつなぎ役をする活動が大事に成ると思います。

先日兵庫県の高砂市に行きました。歴史のある街のあちこちで、やはり他から移り住んだ若者がユニークな活動をしています。ある人は、天井や壁に穴があった店を自分で最低限修理して(予算ゼロで廃材で修理)週1回ノンアルコールバーを開き、ある人は鉛筆だけで書く絵のアトリエを開き、ある人はバルーンアートを作る。とにかく人と関わること、まちと関わることを大事にしてい

る彼らは、収入が少なくても人とのつながりで生きていけるといいます。家賃が安く別の仕事もしながらなので、事業の採算性に縛られずにやりたいことができ、さらに仲間の輪を広げて互いの事業を盛り上げています。ある人はゲームで出てくるような剣を製作し、それを求めてドイツからも人がくるそうです。空家、インターネット、柔軟な発想とチャレンジ、それを応援するコミュニティがあれば、物語性のある人の営みに惹かれて人はまちに来ます。立派な施設や有名な観光地がなくてもできることはある、そう感じることができました。常総市にも、自分たちで修復すれば自由に使えるような家や倉庫が今なら沢山あります。そこを生かしつつ人をつなぎ、新たな物語を生み出す。これも復興につながると思います。

7月の茶花…撫子ナデシコ 合歓ネム 蓮ハス 露草ツユクサ 朝顔アサガオ 擬宝珠ギボシ 葛クズ
時節の花は、話し始めの話材あるいは話の接穂として欠かせません。

7月の話材…旧暦7月の呼び名は文月（ふづき）です。短冊に歌や字を書いて七夕に献じたことから「文月」と名付けられました。「ふみづき」、「ふづき」、二通りの読み方があります。この時季に稲穂が膨らむことから「穂含月（ほふみづき）」や「含月（ふくみづき）」、さらには稲穂の膨らみを見るという意味で「穂見月（ほみづき）」とも言います。

話材1. 話の接穂

話出しや話の途中に季節の言葉を使ってみてください。話の間がよくなり、話しに流れがでてきます。さらには、話を転じるときや話に詰まったときには便法があります。それは、話の接穂です。時季を表す用語は時候の挨拶や話の接穂になります。

盛夏、真夏、向暑、猛暑、大暑、酷暑、炎暑、厳暑、盛夏の候、向暑の候、三伏大暑の候、爽快な夏、まぶしいほどの夏、海山の恋しい季節、楽しい夏休み、連日厳しい暑さ、夏祭りのにぎわうころ、炎暑のみぎり、日々暑さ厳しき折から、涼風肌に心地よく、早天続きで、草木も生気を失い、土用の入りとなり、近年にない暑さが続き、蝉の声に更に暑さを覚え、一雨欲しいこのごろ。こうした言葉を話の接ぎ穂に使ってください。

話材2. うけこたえ

うけこたえとは応答や返事のことです。うけこたえが良いと対話を円滑にするだけではなく人と人との間柄を良好に保つことができます。うけこたえは、元来、挨拶の一種です。人に会ったり別れたりするときに儀礼的に取り交わす言葉や動作が挨拶です。儀式や会合などで祝意、謝意、親愛の気持を述べることにも挨拶です。挨拶とはそもそもは禅家で問答を交わして相手の悟りの深淺を試みることです。

話材3. ちょっとそこまで

人と人との間柄のことも挨拶といいます。挨拶は時の氏神です。氏神とは氏の祖先の霊を神として祀ったものです。藤原氏の鹿島・香取神宮、平家の厳島明神、源氏の八幡宮などがよく知られている氏神です。望ましい間柄をあらわした用語に「殊更いづれも挨拶よく」（日本永代蔵）がありますが、この用語は人と人との間柄の要諦です。要諦とは、肝要な悟りあるいは肝心の点のことです。

A「おや、どちらまで」、B「ちょっとそこまで」、A「お気をつけて」、B「この日差しですからね」

無視しない、深入りしない、熱しすぎない、この3つが望ましい間柄の肝です。

7月の動機づけスピーチ

1. 蝦蟇（ガマ）の膏（アブラ）

落語の話材にも動機づけのヒントがあります。蝦蟇はヒキガエル、季語は夏です。風俗描写を中心とした長編落語の1つが『両国八景』です。酔っ払いが居酒屋でからんでいるのを友人がなだめて両国広小路に連れ出し、男が大道の物売りたちをからかうという筋立てです。『両国八景』の前半部分は3代目三遊亭金馬が十八番とした『居酒屋』、後半部分の噺が香具師の「蝦蟇の膏売り」です。「蝦蟇の膏売り」は、3代目春風亭柳好や6代目三遊亭圓生、林家彦六などが演者としてよく知られています。香具師は、白袴に鉢巻、タスキ掛け、腰に刀を差し、膏葉が入った容器を手を持って、台の上にひからびたガマガエルを乗せ、口上を言います。以下は蝦蟇の膏売りの口上の一例です。さあさ、では、まあ、だが、話し始めの言い出し方をとくにご理解ください。

【口上】

さあさ、お立ち会い。御用とお急ぎでない方は、ゆっくりと聞いておいで。遠目山越し笠のうち、物の文色（あいろ）と理方（りかた）がわからぬ。山寺の鐘は、ごうごうと鳴るといえども、童子（どうじ）来立って鐘に鐘木（しゅもく）をあてざえば、鐘が鳴るやら鐘木が鳴るやら、とんとその音色がわからぬが道理。

中略

では、何を家業にいたすかと言えば、手前持ち出したるは、これにある蟬噪（ひきせんそう）、四六

のガマの油だ。そういうガマは、おのれの家の縁の下や流しの下にもいると言うお方がありますが、それは俗にオタマガエル、ヒキガエルといって、薬力（やくりき）と効能の足しにはならん。

中略

まあ、ちょっとお待ち。ガマの効能はそればかりかということ、まだある。切れ物の切れ味を止めると言う。てまえ持ちいただいたるは、鈍刀（どんとう）たりと言えど、先が斬れぬ、元が斬れぬ、半ばが斬れぬと言う鈍（なまくら）ではない。ご覧のとおり、抜けば玉散る氷の刃だ、お立ちあい。お目の前の白紙を一枚切ってお目にかける。白紙一枚切れるときは人間の甘皮が切れるという。

中略

だが、お立ち会い、こんな傷は何の造作もない。ガマの油をこうして付ければ、たちどころに痛みが去って血がピタリと止まる。

2. 酒はほどほどに

口上で大儲けしたガマの油売りは、飲み屋でベロベロになった。帰りがけ、両国橋を通りかかる。

「まだ人がいるなあ。もうひと儲けできそうだな。さあさ、お立ち会い……フヒー」

くだんの口上をしゃべり始めたが、酒のせいで呂律が回らない上に、話す内容も段々おかしくなってくる。

「北の筑波山」が「東の高尾山」、「四六のガマ」は「一六のガマ」、「ガマの前指が四本、後ろ足が八本」「それじゃあ蛸だ」

「いつもはひと貝で百文だが、今回はふた貝で百文」は「いつもはふた貝で百文だが、今回はひと貝で百文」となってしまう。

「さあこの通り、たたいて斬……」

自分の腕に刀を当てる。切り傷に見せるトリックを行うはずが、なんということか切れてしまった。

「驚くことはない、この通りガマの油をひと付け付ければ、痛みが去って、血も……止まらねえ。ふた付け付ければ……トホホ、お立ち会い」、「お立ち会いの中に、血止めはないか」。

3. 知性を滲ませる

手紙の最後に日付を書く際などにも知性を滲ませることができます。四季折々の自然のありようの呼び方があります。例えば、7月は「七夕」です。

一月…余寒（よかん）、二月…残雪（ざんせつ）、三月…梅花（ばいか）、四月…卯花（うばな）、五月…橘（たちばな）、六月…夕立（ゆうだち）、七月…七夕（たなばた）、八月…雁（かり）、九月…月（つき）、十月…時雨（しぐれ）、十一月…霰（あられ）、十二月…雪（ゆき）

今や時節を感じることができるのは街を吹く風ではないでしょうか。風の表現にも知性を滲ませることができます。春風（はるかぜ）は春先に吹く気持ちのよい風です。春嵐（はるあらし）は春先に吹く激しい風です。春一番はその年初めて吹く強い南風です。青嵐（あおあらし）は青葉の頃に吹くやや強い風です。緑風（りよくふう）は初夏の風です。薫風（くんぷう）は初夏に若葉の薫りを漂わせて吹く快い風です。白南風（しろなえ）は梅雨明けのころに吹く南西風です。熱風（ねっぷう）は太陽の熱で高温になった風です。涼風（すずかぜ）は初秋のころの涼しい風です。朝風（あさかぜ）は朝方に吹く風です。夕風（ゆうかぜ）は夕暮れに吹く風です。夜風（よかぜ）は夜に吹く風です。吹く方向などからみた風があります。①東風②西風③南風④北風⑤朔風⑥山風⑦嵐⑧山嵐⑨高嶺風⑩雪嵐⑪谷風⑫松風⑬松籟⑭下風⑮川風⑯潮風⑰海風⑱陸風⑲追い風⑳追手などがあります。どのような読み方をするとおもいますか。①ひがしかぜ、とうふう、こち②にしかぜ、せいふう③みなみかぜ、なんふう④きたかぜ、せいふう⑤さくかぜ（朔は北のことです）⑥やまかぜ⑦おろし（山から吹く下ろす風）⑧やまおろし⑨たかねおろし⑩ゆきおろし⑪たにかぜ⑫まつかぜ⑬しょうらい⑭したかぜ（木の下を吹き抜ける風）⑮かわかぜ⑯しおかぜ⑰かいふう⑱りくふう⑲おいかぜ（後ろから吹く風）⑳おいて（追い風と同じ）

県内の知見にヒントあり

筑波山は、茨城県南西部にある標高877メートル、農業神として信仰登山が盛んに行われてきた紫峰です。峰は二つに分かれ、西を男体、東を女体といいます。「西の富士、東の筑波」と称せられ、万葉のいにしえから人々に親しまれてきた由緒ある山です。

蝦蟇の膏売り口上の名人は筑波郡永井村の兵助つまりは永井兵助です。「手前持ち出したるは四六のガマだ」、「さあ、一枚の紙が二枚に切れる。二枚が四枚、四枚が八枚、八枚が十と六枚、十と六枚が三十と二枚。三十と二枚が六十と四枚。六十と四枚が一束と二十八枚。春は三月落花のかたち、比良の暮雪は雪降りの形だ、お立ち会い」。夏目漱石は、明治45(1912)年1月1日から4月29日の間、「朝日新聞」に連載した小説『彼岸過迄』の中で浅草における長井兵助の演武を記述しています。そして、夏目漱石には、「抜くは長井兵助の大刀春の風」明治30(1897)年」という俳句もあります。

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第5回 第一種・第二種衛生管理者受験のための対策講座	8月2日(火)～ 8月3日(水) 10:00～17:00 ※第二種の方は、2日目13:00に終了 第一種 25,380円 第二種 23,220円	(1日目) ・出題傾向分析と合格学習法 ・関係法令(労働安全衛生法&労働基準法) ・理解度テストと解説 ・労働衛生 (2日目) ・理解度テストと解説(労働衛生&労働生理&有害業務) ※有害業務は、第二種の方は対象外	(株)ウェルネット 専任講師 柴田 珠美氏	水戸 プラザホテル
第3回営業社員セミナー	① 8月18日(木) ② 8月24日(水) 9:30～16:30 全講 14,000円 単講 8,000円	①提案力向上～商品・サービスの価値を伝える力 ②新規開拓・飛び込み営業の極意～モチベーションアップの法則	コンサルタント 浦上 俊司氏	ホテル グランド東雲
第15期マネジメントマスターコース	① 9月2日(金) ② 9月9日(金) ③ 9月16日(金) ④ 9月28日(水) 13:30～17:00 全講 28,000円 単講 8,000円	①役員は変革しなければならない ②問題社員の個別対処法および問題社員を出さない管理法 ③BS、PL&有価証券報告書を読み解く ④実録と実務 私実践した役員の仕事及び経営改革	①、② (株)ケーツーマネジメント代表 葛田 一雄氏 ③ 公認会計士・税理士 松下 芳男氏 ④ RE-Engineering Partners 代表取締役社長 稲田 将人氏	茨城県 産業会館

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、

未来に向かって力強く前進いたします。



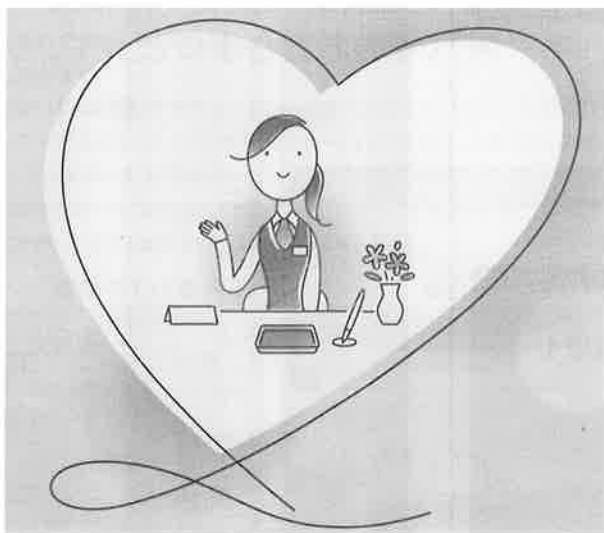
筑波銀行は地域振興支援プロジェクト『あゆみ』に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行
Tsukuba Bank

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか? 活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関するこの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に
最適な専門家を紹介

協会・顧問弁護士
清水謙弁護士
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営
コンサルタント

その他
各専門家

お問い合わせ:一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp